

《最近の県内経済》 (2023年7月を中心として)

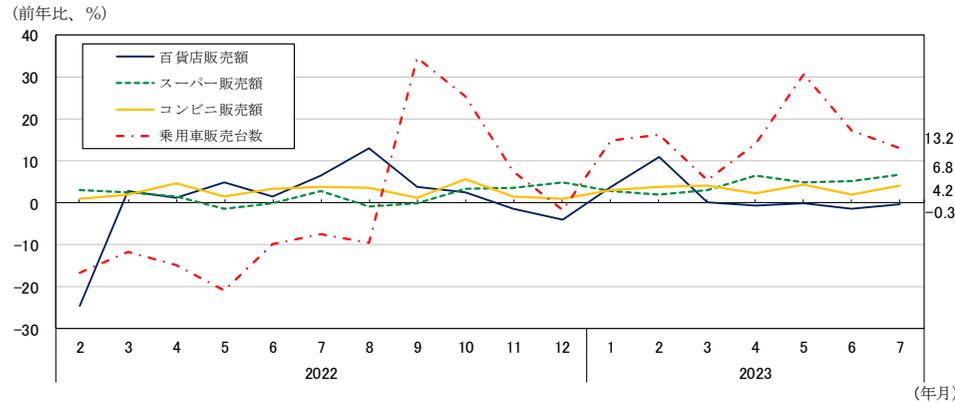
2023年9月29日

今月の概要

緩やかに持ち直している。

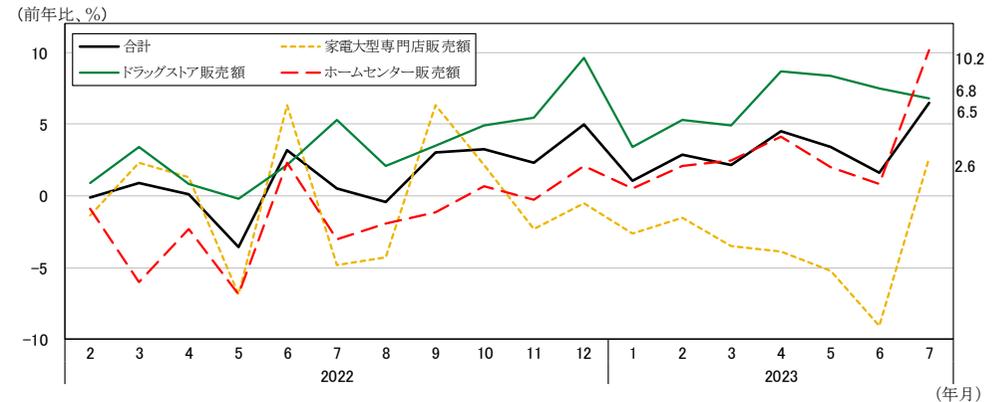
1 個人消費 ~持ち直している

百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、持ち直している。

7月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店が125億円で前年比0.3%減（2か月連続の減少）、スーパーは1,086億円で同6.8%増（10か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は611億円で同4.2%増と21か月連続の増加となった。旅行やイベント開催等による外出機会の増加や猛暑による盛夏商材の需要増加などが牽引している。

また、乗用車販売は、前年比13.2%増と7か月連続の増加となった。内訳をみると、小型車が同比1.4%減と4か月ぶりの減少となったものの、普通車が同比33.7%増と7か月連続の増加、軽乗用車が同比0.7%増と3か月連続の増加となった。

7月の専門量販店販売額は、851億円で前年比6.5%増と11か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が211億円で同2.6%増（9か月ぶりの増加）、ドラッグストアが437億円で同6.8%増（14か月連続の増加）、ホームセンターが203億円で同10.2%増（8か月連続の増加）となった。

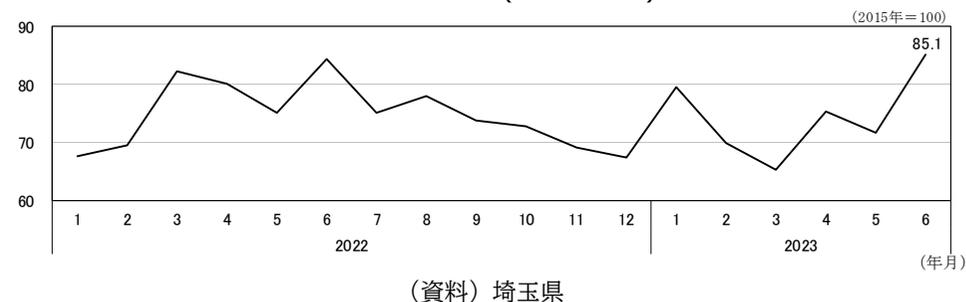
関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、6月〈37.7〉、7月〈38.2〉、8月〈37.2〉と推移している。

2 設備投資 ~持ち直している



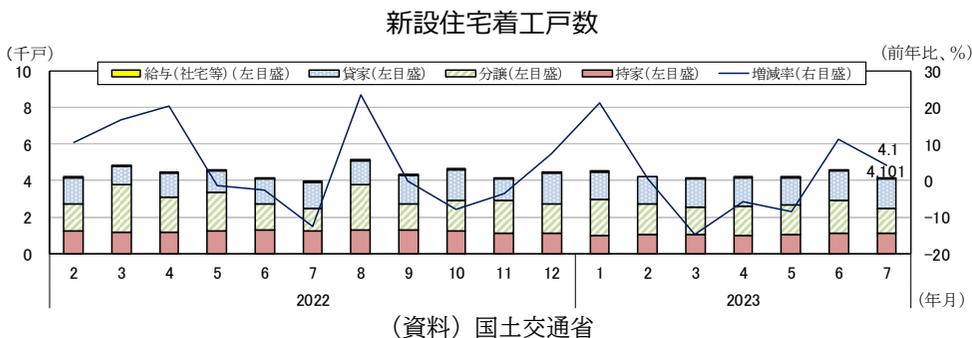
7月の民間建築着工床面積(非居住用)は、74千㎡で前年比68.5%減と4か月連続の減少となった。(5か月後方移動平均でも前年比28.5%減)用途別にみると、事務所は増加したものの、店舗、工場及び作業場、倉庫、病院・診療所がいずれも減少した。

資本財出荷指数(季節調整済)



6月の資本財出荷指数(季節調整済)は85.1で、前月比18.7%増と2か月ぶりの増加となった(5か月後方移動平均では、前年比1.1%増)。

3 住宅建設 ~横ばいとなっている



6月の新設住宅着工戸数は、4,101戸で前年比4.1%増と2か月連続の増加となった(5か月後方移動平均では3.3%減)。利用関係別にみると、持家(1,099戸)が同11.2%減、分譲戸建(1,120戸)が6.2%減となったものの、貸家(1,600戸)が同9.9%増、分譲マンション(286戸)が同793.8%増といずれも増加した。

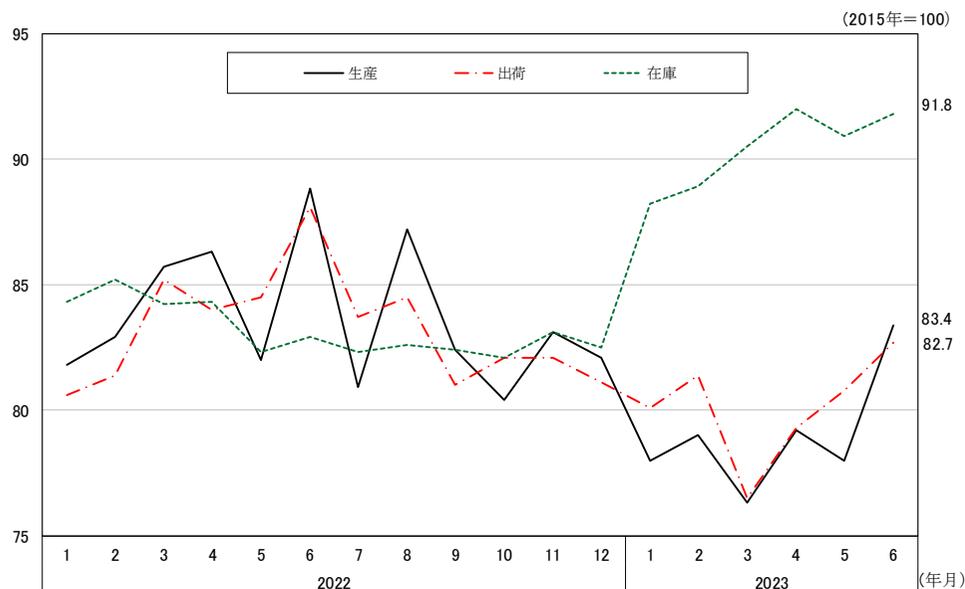
4 公共工事 ~横ばいとなっている



7月の公共工事請負額は458億円、前年比8.0%増となった(3か月ぶりの増加)。5か月後方移動平均では前年比9.4%減で推移。発注者別で見ると、国、都道府県は減少したものの、独立行政法人等、市区町村、地方公社はいずれも増加した。

5 生産活動 ～一進一退

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



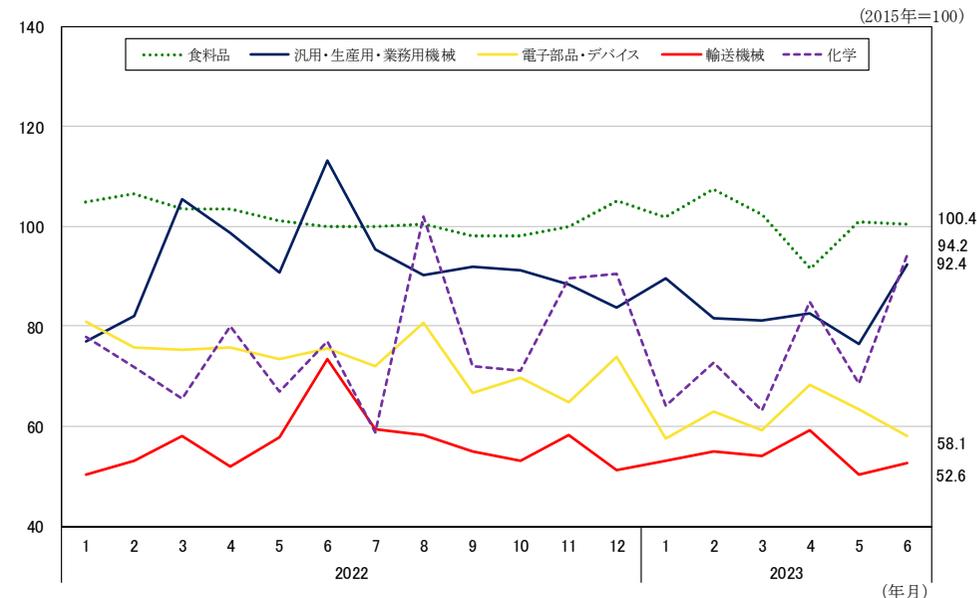
(資料) 埼玉県

6月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、83.4で前月比6.9%上昇した(2か月ぶりの上昇)。情報通信機械(カーナビゲーション、ガス警報器)、電気機械(電力変換装置、クッキングヒーター)などが低下したが、化学(医薬品、印刷インキ)、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)などが上昇した。

出荷指数(同)は、82.7で同2.4%上昇(3か月連続の上昇)。情報通信機械(ガス警報器、カーオーディオ)、食料品(炭酸飲料、ビスケット類)などが低下したが、生産用機械(半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置)、業務用機械(医療用機械器具、試験機)などが上昇した。

在庫指数(同)は、91.8で同1.0%上昇した(2か月ぶりの上昇)。生産用機械(整地機械、マシニングセンタ)、プラスチック製品(プラスチック製容器、プラスチック板)などが上昇したが、電気機械(クッキングヒーター、食器洗い乾燥機)、電子部品・デバイス(混成集積回路、サーミスタ)などが低下した。

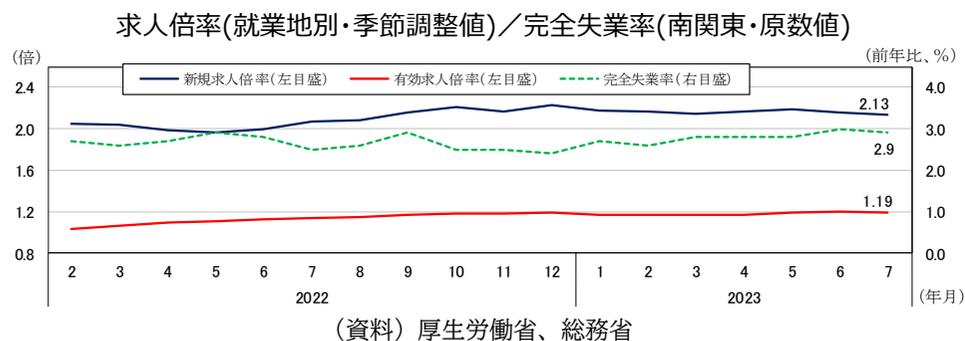
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、100.4で前月比0.5%低下、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、92.4で同21.1%上昇、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、58.1で同8.2%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、52.6で同4.8%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 化学(同)は、94.2で同37.5%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

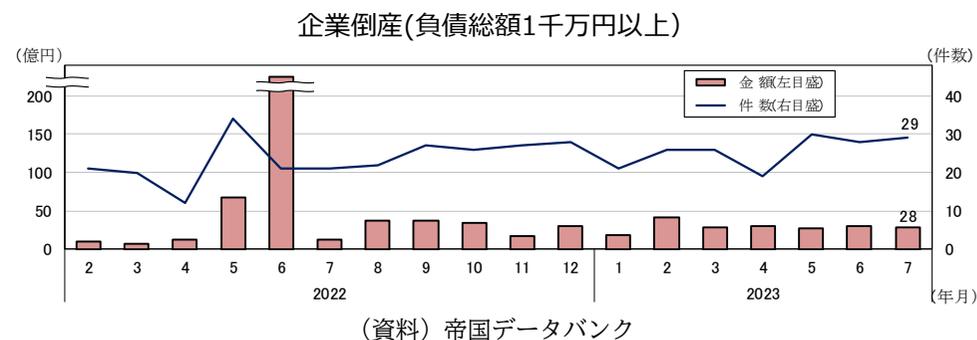
6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している



7月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.19倍で前月比0.01ポイント低下した(3か月ぶりの低下)。また、新規求人倍率(同)は、2.13倍で前月比0.03ポイント低下した(2か月連続の低下)。

完全失業率(南関東、原数値)は、2.9%で前年同月比0.4ポイント上昇した(前年同月比2か月連続の上昇)。

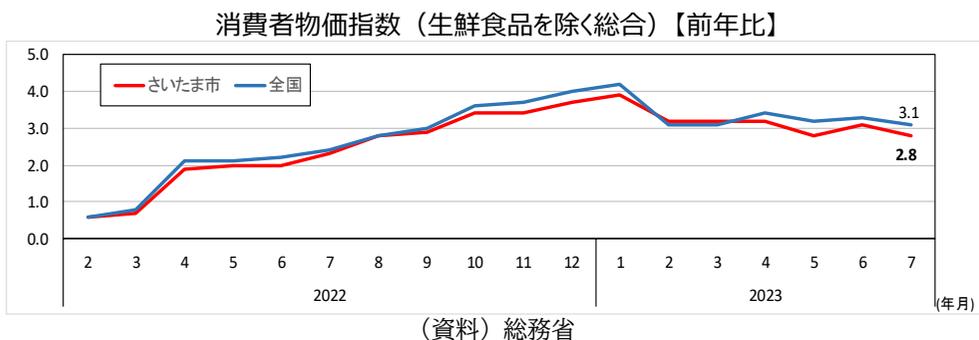
7 企業倒産 ~増加傾向にある



7月の企業倒産件数は、29件で前年同月比8件の増加となった。負債総額は28億円で同16億円の増加となった。

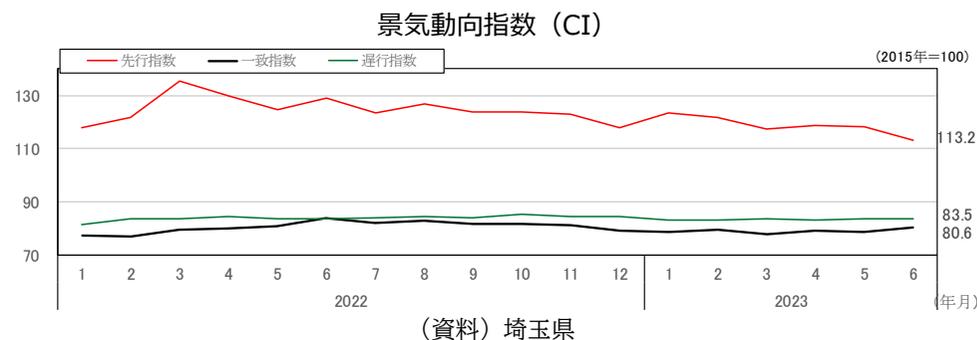
業種別にみると、サービス業が最多で9件。次いで建設業が6件、製造業、卸売業、運輸・通信業がそれぞれ4件と続いている。主因別では、販売不振が26件となっている。

8 消費者物価 ~上昇率がやや鈍化している



7月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年同月比2.8%上昇した。食料(調理食品など)、教養娯楽(主に旅行代金等)等の上昇が全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ~下方への局面変化を示している



- 6月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、80.6で前月比1.8ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、113.2で同5.3ポイント下降し、2か月連続の下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、83.5で同0.14ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。